
四季物語

愛破 遊人

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

四季物語

【ZINEID】

Z2706Z

【作者名】

愛破 遊人

【あらすじ】

最初で最後の学園生活。

全て楽しく、そして何事もなく過ごせるとと思っていた。
しかし、いくつもの壁にぶち当たり挫けそうになる。

憧れの先輩を追いかけてきた、桜木 遥。

兄を憎みながらも兄を慕い続けた、海道 奈津。

奪う魔女と戦まされても一つの光を信じた、秋川 紅葉。

本当の自分自身を見て欲しいと願い続けた、雪村 冬樹。

今、少年と少女の短い学園生活が始まる。

早過わたお終い（前書き）

一話完結で投下ではなく、ちよこちよこ投下していきますので。
また今回が初作品となり、至らぬ部分や不適切な描写等があると思
いますが、応援の程宜しくお願いします。

早過わたお終い

ジロリ、ジロリ。

(んー？？？目覚ましが鳴つてゐる。 もう、朝かな？？？)

『 ハルウー？ハル、起きなさい？？？』

お母さんの怒鳴り声が聞こえる。

(もう少し寝起き、で？？？)

ドタドタ、ドタドタ。

ドアが開くと同時にお母さんが声を荒げた。

『 ハル、今何時だと思つてゐるの？

今日は始業式でしょ？しょっぱなから遅刻するな？？』

ハツ？そつだ、今日は始業式だ。

『 やだ、まづこよ？もう、お母さん。

もうと早く起こしてよ～』

お母さんはため息をつこく

『 何言つてゐる。 昨日、血分で起きあつて張つ切つてたじやない。』

『 もうだけど起きれないの分かつてたら、もうと早く起こしに来て
くれても？？？え？何、その格好？ まあかだけど、始業式に来るの
？仕事は？』

『 なーに、言つてゐる。 親が子どもの始業式に来るのは普通でしょ
？仕事はお休みもりつたから平気よ。』

お母さんは鼻をふくと鳴らし、胸をドンと呂あお部屋を出た。
お母さんの途中を向けて、言葉にせず叫びた。

『ありがとう』。

私の家にはお父さんが居ない。

お母さんはお父さんが亡くなつてから、女手一つで私と妹の絢香を育ててくれた。

だからこそ、始業式だけでも来てくれるがすごく嬉しい。

反面恥ずかしいけど。。。

さて、着替えますか。

制服に腕を通してみる。うん、やっぱりこの制服は可愛い。ここまで来るのは本当に地獄だったなあ。

運動は得意でも、勉強は可もなく不可もなく程度だから一年間は勉強に費やした。

うう、思い出すだけでも悪寒が。。。

ああ、色々思い出してきた。

そうだ、あの日は意味不明な感情になつたなあ。

既に憂鬱になつてきたけど。。。

- 合否発表当日 -

私の学校には錦織学園に受験した人は居ない。

いや、居てもそこまで仲良くないから話しも出来ないし。

（はあ、もう。朋子はもつと上の私立校だし、ちいは錦織は無理つて言つてたし？？？お、錦織。やっぱ、でかい学校だなあ。）

あつた、あつた。

ここつて凄いことだよね。数字一つで落胆する姿や歓喜する姿。

？？？あれ？怒つてる？

男の子が受験番号の紙を握り締めてる。

その男の子は紙を叩きつけ、舌打ちをして学園を去了た。

（落ちたのが、そんなに悔しかったのかな？あれ、あの子どこで見たんだけど？？？あれ？初めてじゃない感じ。）

そんなことよりも、私の番号は？

えーっと。。。

あつた？やつたぞ、私。さすが桜木 遥？
クルクルと三回転程して、彼の紙が気になつた。
あそこまで怒るのはなんだろう？

そして、彼の紙にある受験番号を見た。

それは最優秀成績として高々とその番号は中心にあつたのだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2706n/>

四季物語

2010年10月10日05時38分発行